

本市では、令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受けた国からの要請により、「下水道管路の全国特別重点調査」を実施しました。

[調査対象]

- ・管径2m以上 かつ 平成6年度以前に設置された下水道管(設置から30年以上経過)
- ・本市の調査対象延長は185.120km

[完了した調査内容]

- (1) マンホール調査
 - ・作業員による目視で異状の有無を確認
- (2) 管内調査
 - ・作業員による目視、または自走式カメラ等で異状の有無を確認

[調査結果]

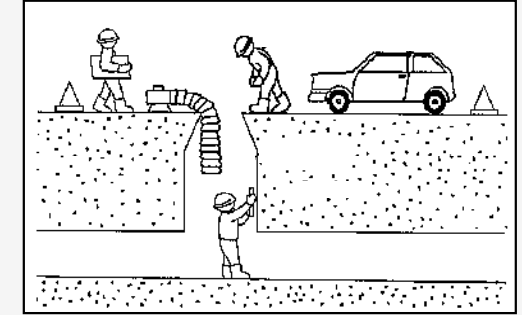
- ・数ミリのひび割れなどといった不具合が確認されたものの、甚大な道路陥没につながる大規模な腐食等は確認されていない。

	対策が必要な延長	(マンホール間延長)
緊急度Ⅰ(原則1年以内に対策を実施)	0.431km	(6.255km)
緊急度Ⅱ(5年以内に対策を実施)	0.442km	(44.210km)
異状なし又は軽度の異状	なし	(134.654km)

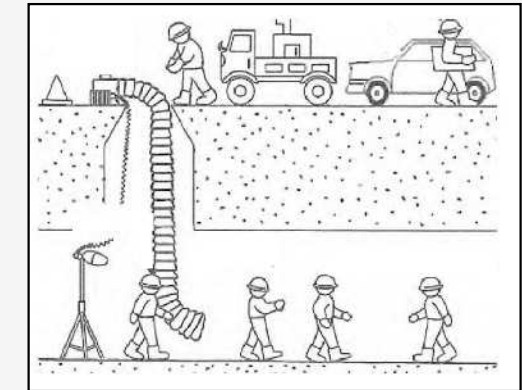
[今後の対応]

- ・緊急度Ⅰと判定された管路については、今年度中に補修等の対策を実施
- ・緊急度Ⅱについては、来年度以降の対策スケジュールを今年度中に検討
- ・緊急度ⅠまたはⅡと判定された下水道管の周辺道路において、レーダ等による地中の空洞調査を実施中。空洞が確認された場合は道路管理者と連携し、空洞を埋めるなどの必要な対策を適宜実施

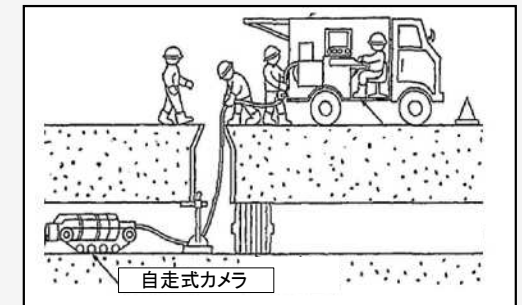
[調査内容のイメージ]



(1) マンホール調査



(2) 管内調査(目視)



(2) 管内調査(自走式カメラ)